



沼津市文化財 センター通信 Vol.8

2022年3月発行



文化振興課公式FB



沼津市公式YouTube Ch.
(沼津の歴史紹介)



縄文時代の愛鷹山は人や物が交流した場所だった？

沼津市の北側にそびえる愛鷹山には、数多くの遺跡^{いせき}があることが知られています。今回は、土器や弓矢が誕生^{たんじょう}し、約 14,000 年前から約 10,000 年以上続いた縄文時代に注目してみます。

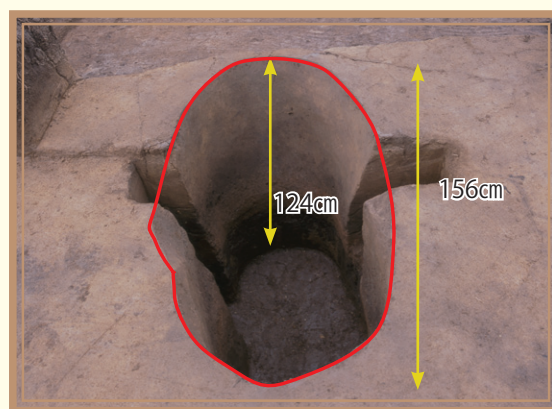
愛鷹山には縄文時代の遺跡が多く見られますが、それは緩やかな斜面^{ゆる}に森が広がり、けもの^{しゃめん}の狩りや木の実などの採取^{さいしゅ}といった当時の生活において最適な環境であったことが、理由の一つと考えられます。

そこで、東名高速道路^{とうめいこうそくどうろ}の愛鷹スマートインターチェンジと新東名高速道路の NEOPASA 駿河湾沼津サービスエリア^{はつかつ}の建設の際に行われた発掘調査でわかった、縄文時代の様子^{しょうかい}を紹介します。

愛鷹パーキングエリアを含む愛鷹スマートインターチェンジの場所は芝荒遺跡^{しばら}と呼ばれ、この遺跡ではけものを捕まえるためのおとし穴、縄文時代前半の土器や矢の先端^{せんたん}に付けるやじり、木を切り倒すために使う石の斧や木の実の加工などに使う磨石^{すりいし}や石皿などが見つかっています。



＜芝荒遺跡の調査風景＞



＜芝荒遺跡で見つかった縄文時代のおとし穴＞



遺跡から、その時代の生活の様子が
見えてくるね♪



＜芝荒遺跡から出土した縄文土器＞



＜芝荒遺跡から出土した石の斧＞



今も昔も重要な地域！？

NEOPASA 駿河湾沼津サービスエリア（上り）の場所は**縄文遺跡**と呼ばれ、この遺跡では縄文時代の初め頃から後半までの約 10,000 年間にわたる多数の土器や石器が見つっています。

これらの遺跡から見つかった土器や石器から、愛鷹山の縄文時代遺跡における特徴として、地元以外のものが多数見つっているということがあげられます。縄文土器は作られた地域によって形や文様の特徵に違いがあり、地元のものと区別ができますが、よく調べてみると東海西部（愛知県や岐阜県）、中部高地（山梨県や長野県）の土器が含まれていることがわかりました。さらに、主に関東地方で見つかる使い方が不明な**異形台付土器**と呼ばれる不思議な形の土器も見つっています。また石器については、黒曜石で作られたものの産地を調べたところ、箱根や伊豆、そして海を渡った神津島、長野県の和田峠周辺の黒曜石であることがわかりました（黒曜石については Vol.2 参照）。

このように遠方地域の土器や石器の石材が愛鷹山の縄文遺跡から見つかることについて、直接持ってきた人がいたのか、人づてに物だけが運び込まれたのかはわかりません。紹介した二つの遺跡は現代の物流の大動脈である東名高速道路や新東名高速道路の**スマートインターチェンジ**や**サービスエリア**といった交通・交流拠点と偶然にも重なっていましたが、このことは今も昔も多方面からの人や物の動きにとってここが重要な地域であったからともいえるのではないのでしょうか。



＜縄文遺跡の調査風景＞



＜縄文遺跡から出土した異形台付土器＞



＜縄文遺跡から出土した石のやじり＞

案内図



当時の人々は
どのように
土器や石器を
運んだんだろう？



沼津市文化財センター

展示室見学 平日 9 時 00 分から 16 時 30 分
(土・日曜日、祝日、年末年始はお休み)

見学無料

〒410-0106 静岡県沼津市志下 530

TEL 055-935-5010 / FAX 055-933-1270

沼津市教育委員会文化振興課 文化財企画係・文化財調査係

E-mail cul-bunkazai@city.numazu.lg.jp

